

# 北九州革新懇ニュース

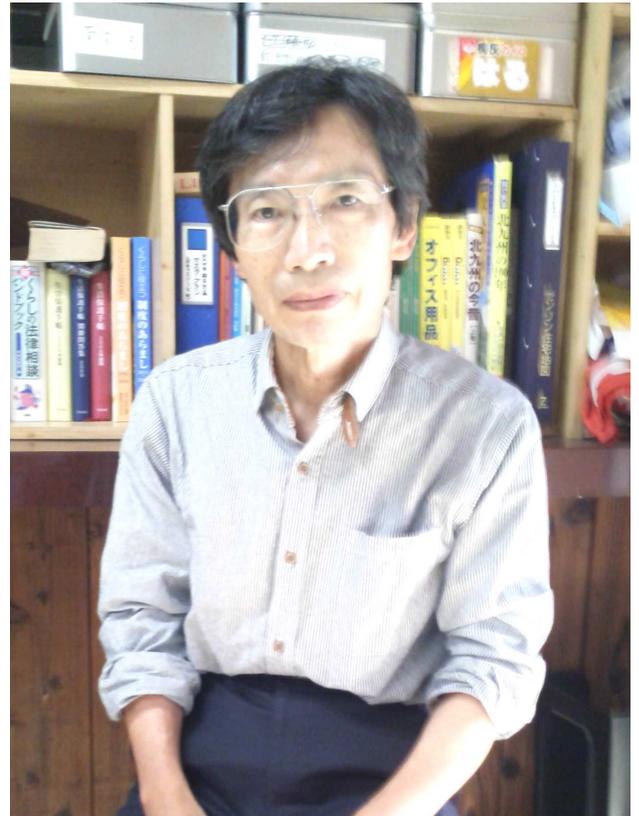
平和・民主・革新の日本をめざす北九州の会  
〒803-0817 北九州市小倉北区田町 13-21 田町ビル 3 F  
Tel.093-592-5000 Fax093-571-4346  
E-mail k-kakushinkon@ace.ocn.ne.jp

## 全国革新懇「三つの共同目標」

1. 日本の経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
2. 日本国憲法を生かし、自由と人権・民主主義が発展する日本をめざします。
3. 日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざします。

## 北九州革新懇

## インタビュー



### プロフィール 西垣 敏(にしがきさとし)

鳥取県国府町の農村に生まれ、大阪大学・大学院で学ぶ。西ベルリンの研究所でポストドクを経験後、豊橋技術科学大学で教員となり、他の大学の併任やフランス・サクレーの研究所の客員などを務めたのち、九州工業大学工学部教授になり、2007年工学部長、2011年3月退職。当時の専門は表面物理学、電子工学。教職員組合、科学者会議等に参加。退職後、京都の芸術系大学通信課程で学芸員資格のための教育を受ける。2013年『生きる旅こころの旅 西垣敏 水彩画展』(第1回)開催。囲碁日本棋院アマチュア6段、フルマラソンを走る。

今回は、2010年10月の戸畑革新懇結成当初から、代表世話人を務めていただき、その前の結成準備会からご協力をいただいている西垣敏九州工業大学教授を青木信恭がお話を伺いました。

**青木** — 戸畑革新懇の再建いらい代表世話人の一人として運動にかかわってこられました。そもそも先生が政治や社会を変える運動に足を踏み入れたきっかけ、理由はどのようなことでしょうか。

**西垣**— きっかけと言えば所謂「学生運動」です。1970年前後、経済成長の裏で人間と自然は大変病んでいた。それを大学で知りました。あろうことか自分が入学した「工学」という分野の先生たちはこそってそれを「進歩」と崇めていました。もう一つは自分の出身階級の「貧困」から何とか抜け出したい思いで

大学工学部に入ったのに、実はそこが貧困・格差の推進者だったこと。そこで生きて行かなければならない、そこでどう辻褃を合わせて、自分を裏切らず生きて行くか、をずっと考えてきたように思います。もちろんヴェトナム反戦、安保・沖縄の戦いにも参加しました。

青木 — 今日の情勢の下で、革新懇の果たす役割や活動についての考えや思いを聞かせてください。

西垣—3.11 東北大震災で私はつくづく思い知らされました。今回の熊本・大分地震でもそうです。守る、ということの大切さ、その忍耐について。家族を守る、子どもたちを守る、土地を守る、米を守る、農業を守る。そこに蓄積された人間の努力の大きさを想わざるをえません。自分の分野に引き寄せると、

教育の高邁な精神を引き継ぐ等々、それから根本的には憲法9条を護る。地域の人々の生活を守ること（子どもたちや若い人たちがのびのび動き回れるようにすることを含めて）、そのための輪を広げること、に革新懇は何ができるか、を一緒に考えていきたいと思いません。

青木 — 理系の学問の道に進まれたのはどうしてですか。それにいま絵を描き、個展まで開かれていますか。

西垣—高校では数学・物理だけでなく地理や世界史、古文・漢文も好きでした。大都会に出て理系の学問や技術で身を立てた叔父たちの経験談を聴いて、そういう学問に憧れたことも確かですが、理系に進むと自分で決めた記憶はありません。いつの間にかそちらのクラスに入っていました。大学に入って大きなショックを受けました。塾講師で社会の科目を教えていた大学院生時代、やはり現実の日本を見ておかなければならないと思立ち、東北方面をぐるっと旅して、辿り着いたのが、

この世の地獄かと見間違ふばかりの足尾銅山でした。決して忘れまいとの思いがつのって、九工大に来てからその惨状を水彩画に塗り留めました。理系と言ひ、芸術と言ひ、人はこれらを互いに真反対のジャンルのように扱うかもしれませんが、自分にはそんな大きな隔たりはありません。人間、社会、自然と互いのつながり、それをしっかり自分なりに把握したい、数学・物理も絵画も、そういう同じ気持ちで勉強しているつもりです。

青木—「日本科学者会議」にも加わっておられますが、最近の具体的な取り組みについて一言聞かせてください。

西垣—私は科学者会議福岡支部の幹事、またその北九州分会の世話人をしています。福岡支部には「福岡核問題研究会」があって、そこを中心に、フクシマ原発大災害よりずっと前から、原発の危険性を広く市民に知らせる活動を続けて来ています。環境問題研究会も科学と市民を結ぶ活動をしています。私は昨年の北九州分会例会で、「大学と軍事研究—

「戦争する国」づくりへの科学者の動員を許さない」の題で、いま軍事研究は日本の大学にどれ程の範囲と規模で踏み込んできているのか、軍事（兵器開発）につながる研究の具体例、研究者の倫理や大学側の態度などに関する問題提起を行いました。科学者と市民のつながりがもっと強くなればと願っています。

## 2016年度八幡西革新懇第4回総会を開催

2016年度八幡西革新懇第4回総会を、  
5月14日(土) 14時から黒崎コムシティ

八幡西区革新懇事務局長 嶋 國勝  
に於いて開催いたしました。当日、40名程  
の方々が総会に参加していただきました。多

忙な中での総会への参加、本当に感謝申し上げます。



司会は、世話人でもある瀬下幸弘さん（キリスト者・9条の会）に今年も担当していただきました。終始、誠実できめ細かな進行を心がけていただき、落ち着いた雰囲気の中で講演と第4回総会議事の報告・論議がスムーズに行われました。

#### ○第1部 講演 『『国会情勢』と『熊本震災』』 真島省三氏 衆議院議員

真島議員は午前中熊本県の震災地を現地訪問し、そして午後からの西革新懇の総会に駆けつけてくれました。「・・・、強い揺れと余震が今も続いています。現地を見て緊急な対策を政府に要請・提案しています。安倍首相、政府はマニュアルを示しているが、震災の現地ではそれが実現できていない。」と指摘。更に真島議員は、震災地の避難所の様子、介護の現状、乳幼児やお年寄りへの対応の遅れ、住宅崩壊や車中泊の実情を伝えながら、政府の全面的で緊急な具体策の実現こそが必要だと語りました。特に川内原発の危険性。「日奈久断層や他の断層が川内原発方向に延びている可能性がある。直ちに止めるべきだ。」とも強調しました。その後、参院選、沖縄県議選、安保法制、アベノミクス、TPP、パナマ文書、貧困と格差の問題など、縦横無尽に語っ

てくれました。「講演は45分間！」と無理な願いをしましたが、見事に真島議員はその要望と期待に応えてくれました。ハードスケジュールの中、本当にありがとうございました。

☆講演後、沖縄・辺野古米軍新基地反対のDVD（20分間）を上映しました。西革新懇として、今後のオール沖縄との連帯を再確認することができました。

#### ○第Ⅱ部 総会

・開会の挨拶は、今年も世話人を代表して雪竹一徳さんが行いました。

・経過報告、活動方針、決算報告・16年度予算それぞれを報告・提案をし、次に田中市議が今年度世話人13名の名前を読み上げ提案しました。総会の最後、参加者全員による大きな拍手で、全ての提案事項が承認されました。

そして、この日熊本地震へのカンパを訴えたところ、たくさんの方の協力があり、21、213円の浄財が集まりました。

☆無事、今年度の西革新懇の総会を終えることができました。ご協力いただいた全ての皆さまに心から感謝申し上げます。今年度も共に頑張りましょう。



報告する嶋國勝事務局長



# 戦争法廃止！定例の“金曜行動”―戸畑共同委員会―

「戦争法廃止！戸畑共同委員会」は、5月13日午後5時30分から1時間、JR戸畑駅前前で定例の宣伝・署名行動に取り組みました。この日は、けんわ病院、年金者組合、共産党地域支部、戸畑革新懇から13人が参加しました。荒川徹北九州市議とけんわ病院花田事務次長がマイクを握り通行する市民に「戦争法廃止を求める2000万統一署名にあなただの平和の思いを託してください」と呼びかけました。仕事帰りのサラリーマンや戸畑イオンに買い物へ行く人・帰る人、学校帰りの学生・高校生など43人の人達が署名に応じま

した。「ご苦労様ですね」「がんばって下さい」と励ましの声もかけられました。



## 澤地久枝さんの提案した、毎月3日午後1時きっかり、全国で「アベ政治を許さない」ポスターを掲げよう！

戦争法廃止戸畑共同委員会では澤地さんの提案を受けて、毎月3日の日、スタンディング宣伝を続けています。5月3日はあいにくの雨でしたが、午後憲法集会があったので午前中10分間スタンディング宣伝しました。参加者は7人。

